

# 令和3年度 仙台湾貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.5)

令和4年2月15日  
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和4年2月10日
- 2 調査地点 右図のSt.1, 2及び4
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)

1) 水温: 表層で6.8~7.5℃, 底層で6.8~7.8℃の範囲にありました。

2) 塩分: 表層で33.6~33.7, 底層で33.7~33.8の範囲にありました。

3) 貝毒原因プランクトン出現数

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) が150~260細胞/L確認されました。
- ・下痢性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。



## 調査結果表(3定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)								
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属		
						2月14日	-	2月14日	-	2月14日	-	2月14日	備考	
1	7:36 32.5 m	0	9.0	7.5	33.7	190	-	0	-	0	-	0		
		10		7.6										33.7
		20		7.7										33.8
		31.5		7.8										33.8
2	8:10 24.5 m	0	7.0	7.0	33.6	150	-	0	-	0	-	0		
		10		7.0										33.7
		20		7.1										33.8
		23.5		7.1										33.8
4	8:49 27.7 m	0	7.0	6.8	33.7	260	-	0	-	0	-	0		
		10		6.8										33.7
		20		6.8										33.7
		26.7		6.8										33.7

※ 他の定点については荒天につき未実施です。